The University of Osaka
Institutional Knowledge Archive

Title	〈趣意書〉「フェミニズム＆アート研究プロジェクト」の創設
Author(s)	北原, 恵; 中嶋, 泉
Citation	日本学報. 2022, 40-41, p. 15-16
Version Type	VoR
URL	https://hdl.handle.net/11094/88305
rights	
Note	

The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA

https://ir.library.osaka-u.ac.jp/

The University of Osaka

〈趣意書〉

「フェミニズム＆アート研究プロジェクト」の創設

2021 年 3 月,「フェミニズム＆アート研究プロジェクト」が創設された。拠点は，大阪大学文学研究科・日本学講座の北原恵／中嶋泉研究室である。本プロジェクトの目的は，フェミニズムの視点から美術史を見直し，女性美術家の研究を深めることである。そのために，①これまであまり注目されてこなかった女性美術家，ジェンダーやフェミニズムの視点を持つ美術家のアーカイヴを構築して，関係資料の現物（除・美術作品）を収集，公開し，②フェミニズム美術史に関する研究会の開催，研究書の刊行によって，その研究基盤を整備する。対象となるのは，現代の日本の/をめぐる女性の画家，彫刻家，写真家，映像作家，パフォーマーらの活動である。

女性の美術は，近年フェミニズム運動の高まりを背景に注目を集めている。だが,（男性の）作家主義的研究が中心とされる日本では，一部の例外的な作家を除き，女性の美術家についての体系的な研究やアーカイヴは進んでおらず，貴重な資料や情報は散逸，もしくは紛失の危機に瀕している。この状況を変え，日本におけるフェミニズム美術研究を有機的に発展させるためには，本プロジェクトが進める公開を前提としたアーカイヴの構築や出版活動が重要だと考えている。日本のパフォーマンスアートの先駆者であり，フェミニストのグループを率いたイトー・ターリから 2010 年代に譲渡されたフェミニズムアートに関する資料を基盤の一部としながら，さらに多くの資料を収集調査し，体系的に整理していく予定である。

さらに，研究会やワークショップの開催や出版活動を通じて，フェミニズムやジェンダーの問題とアートの関係に関心のある研究者,アーティスト,学芸員らと相互交流を深め，フェミニズムと美術に関する研究のプラットフォームを形成したい。収集した資料を有効利用し，フェミニズム美術史構築のための方法を幅広いネットワークのなかで検討すること，その成果をウェブ記事や書籍などの出版物として残すことが，この領域の発展に重要だと考えている。

この新しいプロジェクトへのみなさまのご理解とご協力をお願いいたします。

（北原　恵/中嶋　泉）

連絡先：大阪大学文学研究科・日本学講座　中嶋泉研究室
住所：560-8532　大阪府豊中市待兼山町 1-5　　電話：06‐6850‐6111（代表）

E メール：feminismandart2021@gmail.com/ inakajima@let.osaka-u.ac.jp
Facebook: https://www.facebook.com/artandfeminism2021